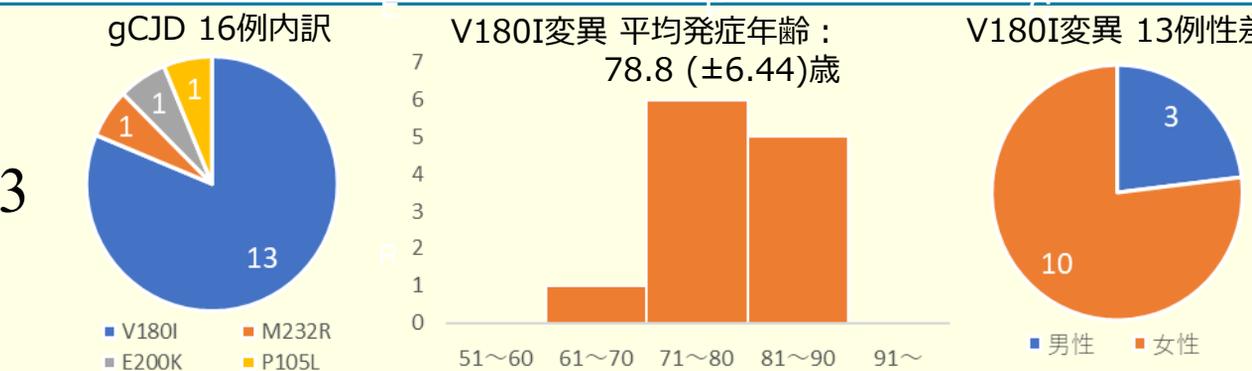
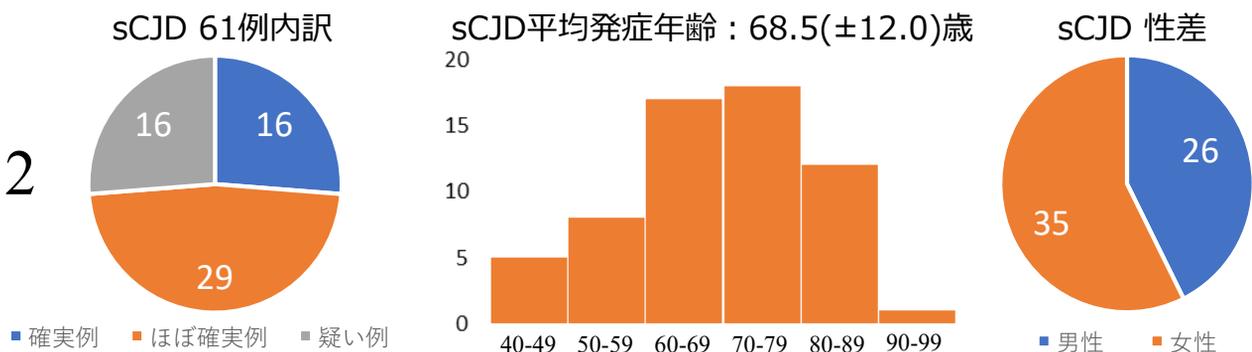
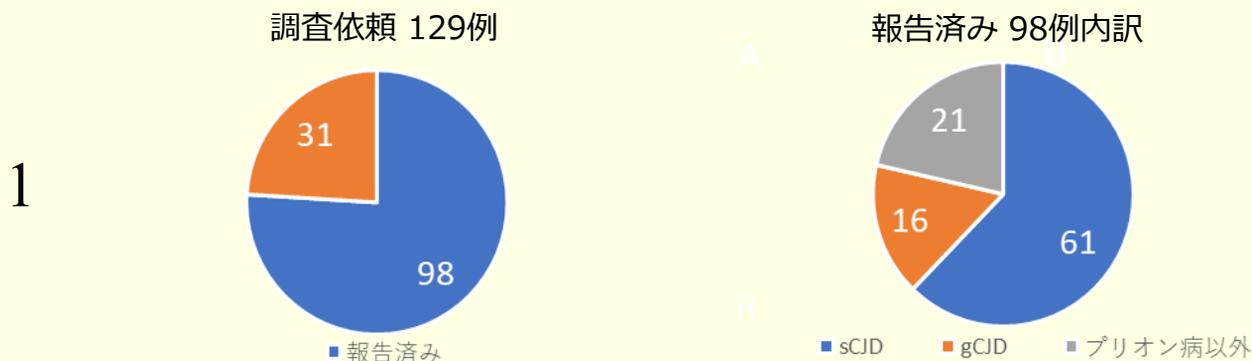


平成29年4月から令和3年2月までの愛知、岐阜、三重の3県におけるプリオン病サーベイランス結果

研究分担者：所属機関 愛知医科大学神経内科 氏名 道勇 学



解 説

1. 期間中129例の調査依頼があり、このうち、検討委員会において報告したのは98例。内訳は、sCJD 61例、gCJD 16例、プリオン病以外の症例 21例であった。
2. sCJD48例(確実例16例、ほぼ確実例29例、疑い例16例)の平均発症年齢は69.1歳で、男女比は男性21例(43.8%)、女性27例(56.3%)であった。
3. gCJD16例はV180I変異13例、M232R変異1例、E200K変異1例、GSS(P105L変異)1例。V180I変異症例は平均発症年齢78.8(±6.44)歳で男性3例、女性10例であった。